

株式会社ヒロハマ

缶パーツを通じて、缶の社会貢献を全面的に支援

【会社概要】

■会社名 株式会社ヒロハマ

■法人設立

昭和26年2月

■本社

〒130-0011

東京都墨田区石原 2-28-11

TEL：03-3625-1680

FAX：03-3625-1688

■資本金

6,250万円

■代表者

代表取締役会長 広浜泰久

代表取締役社長 本多三郎

■取扱製品

1. 缶パーツ一式

(キャップ・口金・手かん・押え金等)

2. その他付属品一式

3. 関連機器

■創業

昭和22年11月



■スピーカー

代表取締役会長 広浜 泰久

テーマ：

「我が社の事業」と
「皆さんにお伝えしたいこと」

【経営理念】

- 一、缶パーツとその関連技術を通じて、缶の社会貢献を全面的に支援しよう
- 一、一人一人の持つすべての能力を、共にベストの形で花開かせよう
- 一、現場で現物を見て現実を把握し、原理原則にのっとなって対処しよう
- 一、お客様と我々自身に還元するために、一切のムリ・ムダ・ムラを無くして、最大の利益を追求しよう
- 一、国内外を問わず、自らの可能性を追求し、仕事を通じて社会に貢献しよう

(1) 『自己紹介』

- 製造品目は缶パーツ（一斗缶などに使われるキャップ・口金・手環など）
- 部品だがメーカー
 - ・下請けから始まった創業者の拘り
 - ＝経営の独立性は価格決定権に直結
 - ・製造業にも文化系の社員は多い。事務・営業はもちろん生産現場にも

- 衰退している業界・シェアUP

- ・業界はバブル時のピークから55%まで縮小
- ・リニューアルした経営理念に基づく経営の5年目で、50年間続いたNo. 2から逆転。今は弊社が全国シェア60%。

(2) 缶の社会貢献を全面的に支援／「社会的使命」として

- 何のための経営か、についての覚醒
 - ・人が喜んでくれることを、最も効率的な分業の仕組みのある組織で行うこと
 - ・下記事例のように「お客様のために社会的使命を果たす」事で売上・利益共に確保できた
- 事例1「とにかく調子良く」／技術支援とねらいの品質
 - ・得意先ラインの不具合を弊社のサービス部門がすべて解決
- 事例2「とにかく間に合わせて」／安定供給から供給責任
 - ・あつてはいけない納期遅れが月に300件⇒年間0件に！
 - ・潰れそうな会社にも製品の供給だけは止めない

- 事例3「缶は使えない？」／製品開発と品揃え
 - ・口元が錆びるし、異物も発生するのでお醤油の容器には缶は使えない
 - ⇒弊社で「塗膜が剥がれない」
 - 「だから錆びない」「異物も発生しない」ヤップを開発、従来通り使っていただける

(3) 共にベストの形で花開かせよう
／「人を生かす経営」とは？

- 事例4「あんなに良い会社だったのに」／社会性・科学性・人間性全てのレベルアップ
 - ・潰れた得意先：素晴らしい社長・幹部が揃っていたのに後に繋がる人が不在採用・育成が出来ていなかった（人間性の部分が不備）
 - ・JAL：パイロット等給料は高く、赤字路線でも就航。人間性・社会性はOKだったが…。月次決算には2～3ヶ月かかる状況（科学性の部分が不備）
 - 事例5「言っているんですけど」／自他共に貶めない、素晴らしさの発揮
 - ・ブラック企業にならないことは前提。良き企業文化をどう作るか
 - ・自己卑下（どうせ自分なんか）と他者依存（うまくいかないのは人のせい、周りのせい）はダメ。良い仕事ができる環境は自分で作る
 - ・自他共に決して貶めないこと（スポーツ界の不祥事と真逆）
 - ・自己成長を促し、力量発揮のために、自社では「職能資格制度」「自己申告」「面接」「一人一人が週次課題」という仕組みを採用
-
- (4) より素晴らしい明日を！
-
- 自らを貶めるな
 - ・人のせい、環境のせいにするな。明日の自分は今の自分が作る
 - ・事例5「話し方教室での一コマ」：吃音の矯正に立ち向かう青年、余談～自分で思っているほど下手じゃ無い、話には「主題」と「話題」を必ず入れる
 - 他者との関わり
 - ・上司や部下の素晴らしさを発見する努力が必要、双方が「相手の素晴らしさを自分が一番分かっている」状態での結婚はお勧め
 - ・事例6「気難しい人とのゴルフプレーで」：外見と印象だけで判断してはならない。コミュニケーションは「正確に相手に伝える」「正確に相手の意図を受け止める」両方の技術が必要
 - 何のための勉強か
 - ・自も他も幸せにするためにこそ基礎学力は必要
 - ・学びや気づきを実践することで、経験と有機的に結合（事例7：弊社のプレス技能士資格への挑戦と実際の仕事）
 - ・良き価値観の醸成するために、今の若い時期にこそ「自らを高める書物や映画など」に沢山触れるべき



封じて守り、社会の安全に貢献します。